

平成 27年 05月 21日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

薩摩 木の家

グループの名称

薩摩 木の家つくる会

直近採択グループ番号

04-0138-0469

※過去に地域型ブランド化事業で
採択を受けたグループは記入

(グループ代表者)

代表者名

有菌 米也

代表者印

代表者所属先

株式会社 有菌

代表者構成員番号

VI-2

代表者所在地

鹿児島県鹿児島市谷山港3-36

代表者電話番号

099-262-1188

(グループ事務局)

事務局事業者名

ヤマエ久野 株式会社 木材住資鹿児島支店

事務局構成員番号

IX-1

事務局担当者名

米倉 司

印

事務局郵便番号

891-0115

事務局所在地

鹿児島県鹿児島市東開町3-8

事務局電話番号

099-268-8121

事務局FAX

099-269-2342

事務局担当者E-mail

t.yonekura@yamaehisano.co.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	薩摩 木の家
2. グループの名称(必須)	薩摩 木の家つくる会
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0138-0469
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	鹿児島県
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	有蘭 米也
7. グループ代表者の所属先(必須)	株式会社 有蘭
8. グループ代表者の構成員番号(必須)	VI-2
9. グループ代表者所在地(必須)	鹿児島県鹿児島市谷山港3-36
10. グループ代表者電話番号(必須)	099-262-1188
11. グループ事務局事業者名(必須)	ヤマエ久野 株式会社 木材住資鹿児島支店
12. グループ事務局の構成員番号(必須)	IX-1
13. グループ事務局担当者名(必須)	米倉 司
14. グループ事務局郵便番号(必須)	891-0115
15. グループ事務局所在地(必須)	鹿児島県鹿児島市東開町3-8
16. グループ事務局電話番号(必須)	099-268-8121
17. グループ事務局FAX番号(必須)	099-269-2342
18. グループ事務局担当者E-mail(必須)	t.yonekura@yamaehisano.co.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	4	
II. 製材・集成材製造・合板製造	4	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	5	
IV. プレカット	2	
V. 設計	19	
VI. 施工	26	
VII. 省エネルギー設備等の流通	5	
VIII. 木材を扱わない流通	0	
IX. I～VIII以外の業種	1	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
	認証かごしま材	鹿児島県	認証かごしま材認証制度	1	国内
	かごしま県産材	鹿児島県	かごしま材の認証	1	国内
	合法木材	国外	合法木材認証制度	3	国外
	合法木材	国内	合法木材認証制度	3	国内

B. 平成27年度における補助対象の木造住宅の申請戸数及び地域材加算申請戸数 (必須)	長寿命型(長期優良住宅)		地域材加算合計		地域材加算合計	
	経験工務店 + 未経験工務店の合計	72 戸			72 戸	
	うち経験工務店による長期優良住宅 合計	44 戸	うち未経験工務店による長期優良住宅 合計	28 戸	地域材加算(うち申請が確定)	24 戸
	うち申請が確定	19 戸	うち申請が確定	5 戸		
	うち申請が未確定	25 戸	うち申請が未確定	23 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	48 戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅) 合計	39 戸	地域材加算合計	39 戸		
	うち申請が確定	12 戸	地域材加算(うち申請が確定)	12 戸		
	うち申請が未確定	27 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	27 戸		
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅) 合計	20 戸	地域材加算合計	20 戸		
	うち申請が確定	5 戸	地域材加算(うち申請が確定)	5 戸		
	うち申請が未確定	15 戸	地域材加算(うち申請が未確定)	15 戸		
	C. 平成27年度における補助対象の優良建築物の申請棟数及び床面積(優良建築物を供給するグループのみ必須)	優良建築物				
	うち申請が確定	1 棟	250 m ²			
	うち申請が未確定	1 棟	300 m ²			

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)

採択結果の発表後に各工務店に対してアンケートを行い、確定物件から優先に分配していく。未経験工務店に対しては、都度アンケートを行い、予定物件においても最低1棟は分配できるようにする。

E. 平成26年度の執行状況 (H26年度地域型ブランド化事業採択グループのみ必須)	長期優良住宅		完了実績見込み				
	採択戸数	23 戸	交付申請戸数	21 戸	竣工済	2 戸	竣工予定
木造建築物							
採択棟数	0 棟	採択床面積	0 m ²				

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 薩摩 木の家	(地域型住宅供給対象地域) 鹿児島県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 薩摩 木の家つくる会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0138-0469	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	●省エネルギーに関わる共通ルール(優良建築物型を除く) ・屋根の下地材には遮熱系の材料を使用し、通気層を設ける。 ・開口部の断熱性能を高める。(冷房期の平均日射熱取得率(η A値)を下げる) ●耐震性能に関わる共通ルール(優良建築物型を除く) ・土台は3.5寸角以上の材を使用する。 ・建物外周部で耐力壁とする場合は耐力面材を用いる。 ・地盤調査は、スウェーデン式サウンディング試験を行う。また、表面波(レイリー波)探査法との併用を提案する。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	・居室にはLow-Eガラスを使用する。(窓の面する方位が真北±30度を除く)(優良建築物型を除く) ・住宅密集地においては、省令準耐火を提案する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・当グループの地域型住宅供給対象地域である鹿児島県は、強い日差しを避ける為に庇や軒の出幅が大きいものが取り入れられてきた。しかし、近年では現代風の住宅が多く見受けられるので、地域の伝統である要素を十分に考慮し、庇や軒をデザインに取り入れる。	○
④①～③の背景	・鹿児島県は年間平均気温が18.6℃(沖縄県に次ぐ全国2位)、年間降水量は2,265mmであり、温帯から亜熱帯気候に属している。 ・奄美諸島、トカラ列島、大隅半島には夏から秋にかけて多くの台風が接近しており、日本有数の台風銀座と言われるほど影響を受ける。 ・上記ルールの趣旨を工務店に理解してもらい、「認証かごしま材」、「かごしま県産材」を使用することによって、「薩摩 木の家つくる会」の鹿児島県での普及、促進を図る。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・特になし。	
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①用材の寸法規格化や建材の統一、標準仕様の設定	・構成員(設計、施工、建材流通、事務局)による検討会で、モデルプラン(様式5関連)を基に平成25年省エネ基準適合に則したグループの標準仕様を設定し、寸法の規格化、及び、建材の統一を図るとともに、平成25年省エネ基準に未対応の施工事業者(未経験工務店)の事業活用を促す。 [標準仕様の設定項目]:断熱材(熱伝導率)、開口部(サッシ、ガラスの熱貫流率)、設備機器(各設備機器の性能値)、など。	○
②建材・資材調達の見直しや事務の合理化	・木材の資材調達、及び、事務の合理化を目的として、プレカット事業者による、木材の共同購入を行うとともに、木材の安定的な供給を図る。	◎
③生産の合理化等に向けた委員会等の検討実施体制	・構成員(設計、施工、建材流通、事務局)による「薩摩 木の家委員会(仮称)」を設置し、プレカット事業者と連携し木材の効率的な供給体制を整備する。 ・未経験工務店向けの施策として、上記検討会において、経験工務店、及び、設計事務所による未経験工務店の支援(事業活用)を目的に、支援体制に係わる項目の検討についても実施する。(検討会の開催頻度:3ヶ月に1回程度)	○
④生産の合理化等に向けた事務局の役割	・事務局が構成員向けの研修会、勉強会を開催し、「薩摩 木の家委員会(仮称)」における検討項目(木材の安定供給に係わる項目、及び、未経験工務店への対応など)の周知を行い、グループ全体で生産の合理化に取り組む。	○
b		
①グループの信頼性向上に向けた施工基準の整備	・「住宅の省エネルギー技術に関する講習会(施工者向け)」における施工内容をグループの施工基準とする。 ・専門工事を外注する場合、メーカーが施工IDを交付した事業者が行う。(太陽光パネル設置、断熱、外壁、瓦工事など)	○
②グループの信頼性向上に向けた検査ルールを設定	・長期優良住宅の工務店による現場検査を計4回(配筋、中間、仕上げ前、竣工)を行い、「薩摩 木の家」の共通ルールを事務局が作成するチェックシート(現場写真含む)により管理を行う。 ・地域材において各構成員が発行する出荷証明書に住宅履歴情報として蓄積する。	○
③グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール化	・標準見積書様式を使用する事により、高い品質の長期優良住宅を供給するグループであることをお客様に訴求する。	○
④グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	・事務局開催のイベントであるハウズフェスタ(開催地:福岡)にて、信頼性向上に係る上記各取組み(標準仕様設計書、施工基準の設定、現場検査の徹底)について施主向けにPRを行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	・特になし。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 薩摩 木の家	(地域型住宅供給対象地域) 鹿児島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 薩摩 木の家つくる会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0138-0469	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①住宅履歴情報の共通管理 診断・点検方法の共通化	・「薩摩 木の家」の確実な維持管理を実行する為に、1、2、3、5、10年点検を行う。(優良建築物型を除く) ・長期優良住宅の「維持保全計画書」に基づく工務店の点検をグループで管理する。(優良建築物型を除く) ・第三者機関による住宅履歴情報の蓄積サービスである「リビングベル」の活用を推奨する。	◎
②メンテナンス・リフォーム 基準の整備	・地域型住宅において、プレカット工場が伏図を10年間管理し、将来発生するリフォーム工事や売買に活用し、伏図の提供も行う。 ・「リビングベル」の付帯サービスである、メンテナンス・コールセンター(24時間、365日)の活用を推奨し、施主の安心、安全を確保する。	◎
③住まいの管理・DIY相談会 体験会などの実施	・事務局主催のイベントであるハウズフェスタ(開催地:福岡)にて、グループの「住まいの管理、及び、メンテナンス方法など」について、施主向けにPRを行う。	○
④グループ内における維持 管理検討委員会等の設置	・構成員(設計、施工、事務局)による「維持管理検討委員会」を設置し、定期的に検討会を実施し、検討内容については、事務局主催の構成員向けの研修会時に周知を行う。	○
b		
①グループ構成員の倒産廃 業時のバックアップ体制	・施主への引き渡し後に、グループの工務店が廃業、倒産した場合、メンテナンスを引き継ぐ工務店(グループ内)を紹介する。	◎
②グループ独自の瑕疵担保 ルールの整備	・住宅瑕疵担保責任保険の契約時に実施する内容説明の徹底と、瑕疵発生時の事務局による相談体制を整備する。 ・構造耐力上主要な部分、及び、雨水の浸入を防止する部分に関わる工事については、工務店による現場検査結果の報告を事務局に義務付け、共通ルールチェックシートで管理する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	・特に無し。	

エ. グループの技術力の向上

【平成27年度対応方針】		◎
a		
①未経験工務店等への施工 技術研修会等の開催	・長寿命型、高度省エネ型における構造見学会や完成見学会に未経験工務店への積極的な参加を呼び掛け、技術力の向上を図る。	○
②①の研修会等の実施内容 とその開催頻度	・実施内容:長期優良住宅や長期優良住宅化リフォーム推進事業、改正省エネ基準、フラット35Sなどの国策に関わる研修会やメーカーの新商材や工法の勉強会を開催する。 ・開催頻度:2回程度/年	◎
③総合的な需給計画の策定 等の中長期的な取組	・採択結果発表後に説明会を開催し、施工事業者の本年度実施計画のアンケートを行い、グループとしての需給計画を策定する。 ・長寿命型、高度省エネ型の中長期目標を設定し、グループ全体として取組んでいく。	◎
④③に基づく業種ごとの合 理化への取組	・原木供給、製材、流通、プレカット:使用を指定している「認証かごしま材」が丸太の価格高騰や品不足の為、調達が困難となる場合が見受けられるため、年間使用量を想定し木材の確保に努める。又、価格の変動や木材の流通状況を工務店へ向けて発信する。 ・設計:平成25年省エネルギー基準適合のサポート体制の確立する。(未経験工務店へのサポート)	○
b		
①省エネ技術講習会への参 加目標人数	・グループ内の設計、施工については、全事業者の参加を目標とする。	○
②省エネ技術講習会への参 加促進のための取組	・グループ研修会や定期的に発行している会報などによって、省エネ技術講習会への参加を呼び掛ける。	○
c		
①新たな技術等の導入や開 発の検証のための方法	・建材メーカーの新商品説明会などを開催し、新商品や工法に関する知識の向上を図る。 ・開催頻度:2回程度/年	◎
②新たな技術等の導入や開 発に向けた実証実験の実 施等	・特に無し。	
その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	・特に無し。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 薩摩 木の家	(地域型住宅供給対象地域) 鹿児島県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 薩摩 木の家つくる会	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0138-0469	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取り組みに違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	<p>①地域材ごとの使用部位(必須)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要構造材(土台、柱、梁、桁)は認証かごしま材を使用する。(優良建築物型を除く) ・羽柄材は地域材または合法木材を使用する。(優良建築物型を除く) <p>◎</p> <p>②地域材ごとの1棟当たりの使用量とその占める割合(必須)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要構造材(土台、柱、梁、桁)の過半(50%以上)には認証かごしま材を使用し、それ以外は地域材または合法木材とする。(優良建築物型を除く) <p>◎</p> <p>地域材利用に関する共通ルール(必須)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住宅の木拾い表、鹿児島県産材出荷証明書、認証かごしま材出荷証明書、合法木材の出荷証明書の照合で確認する。(優良建築物型を除く) <p>◎</p> <p>地域材の流れ(フロー図)などグループの取組に関する補足説明</p> <p>一部工務店(構成員)においては、手刻みで施工を行う場合がある為、地域材の流通の中で、製材、集成材製造、合板製造者グループから直接購入を行う場合がある。また、一部、建材流通事業者を介さずに、地域材の調達を行う可能性がある。</p>	
b	<p>①地域材の在庫量や価格情報を把握・共有のための仕組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間使用量を想定し木材の確保に努める。 ・価格の変動や木材の流通状況を把握し、工務店に向けてプレカット工場や事務局から発信する。 <p>◎</p> <p>②グループ全体における地域材の需給予測</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需給予測を行い、「認証かごしま材」「合法木材」についての情報提供が必要な場合は、適宜、「グループ研修会」、「電話連絡」などにて情報提供を行う。 <p>○</p>	
c	<p>①-1 量の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国産(低価格)のい草が市場の多くを占めているが、地域産業の活性化と日本の量文化を守る為に国内産(八代産)のい草を畳表に使用した畳を推奨する。 <p>◎</p> <p>①-2 和瓦の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県で造られるいぶし瓦は「日置瓦」と「鹿屋瓦」があり、双方とも変色が少なく、風に強いという特徴を持つ。台風銀座と言われる鹿児島県の風土に合った瓦である為、使用を推奨する。 <p>◎</p> <p>①-3 襖の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「薩摩 木の家」において、和室がある場合は、九州で製作された襖の採用を推奨する。襖に使用する紙については、地域の特産品(鹿児島県:蒲生和紙、宮崎県:宮崎手漉和紙)を採用したものとす。 <p>◎</p> <p>①-4 障子の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障子の骨組みに鹿児島県産材の使用を推奨する。 <p>◎</p> <p>②その他地域の伝統的な素材や意匠の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に無し。 	
d	<p>①地域の伝統的なデザインを継承する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県の強い日差しを避ける為に庇や軒の出幅の大きいものを取り入れる。 <p>○</p> <p>②地域の住まい方の継承につながる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域型住宅を供給するだけでなく、グループとして地域のコミュニティにも良好な住まい方(環境)を提供する為に、上棟時や竣工時にイベントを開催するなどして、周辺住民とともに良好な住まい方を形成(環境づくり)する取り組みを実施し、継続的にを行う。 <p>○</p> <p>③地域の街並み形成へ寄与する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場とアプローチ部分を除く接道距離の4割以上で植栽を行う。 <p>○</p> <p>④和の住まいの要素を取り入れた取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局開催のイベントであるハウズフェスタ(開催地:福岡)にて、信頼性向上に係る上記各取組み(標準仕様設計書、施工基準の設定、現場検査の徹底)について施工向けにPRを行う。 	
その他	<p>※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に無し。 	

【平成27年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組	・復興需要により東北地区で施工業者などの職人が不足した場合は、グループ内の施工事業者へ事務局から応援要請を行う。	○

グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
 ※申請に係る認定低炭素住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物型の性能や特徴等について記入してください。

【認定低炭素住宅、ゼロエネルギー住宅】

- ・グループの標準的な仕様については、モデルプランに則した仕様(様式5関連参照)とするが、より高い省エネ性能を有する住宅の普及促進を目的とし、以下の削減率を目標とする住宅についても、グループで推奨する。
- (グループ研修会などで周知、推奨を行う。目標戸数:グループで取組むゼロエネルギー住宅の3割程度)

【6.7地域共通】

- Ro値(太陽光を除く削減率): 25%
- R値(太陽光を含む削減率): 120%
- UA値: 0.65以下
- η A値: 2.4以下

【優良建築物型】

- ・グループ内に住宅のみならず、建築物においても先進的な取り組みを実施している事業者が存在する。該当の施工事業者を先導者とし、グループ全体で一定の良質な建築物の供給に取り組む為の施策の一つとして、当グループでは「優良建築物型」にも取り組むものとする。
- ・当グループで定めた共通ルール(省エネ性能、パッシブデザイン、等)を建築物にも積極的に取り入れるとともに、建築物の内外装の木質化に資する取り組みとして、地域材(認証かごしま材)の活用(地域材の使用材積目標:床面積の過半)を推奨する。
- ・優良建築物型には、ビルエネルギーマネジメントシステム(BEMS)の導入、及び、太陽光発電システムと定置型蓄電池の連携による創蓄連携システムの導入を推奨する。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

第二回計画変更

業種区分	種別	構成員番号	事業者名	郵便番号	都道府県	住所	電話番号	元請の新築住宅供給戸数 (H26年実績)	元請の新築住宅供給戸数 (直近3年平均)	うち木造長期優良住宅 (H26年実績)	うち木造長期優良住宅 (直近3年平均)	うち木造低炭素住宅 (H26年実績)	うち木造低炭素住宅 (直近3年平均)	うち木造ゼロエネ住宅 (H26年実績)	うち木造ゼロエネ住宅 (直近3年平均)	優良建築物着工床面積 (H26年実績)	優良建築物着工床面積 (直近3年平均)	長期優良住宅に関する補助金の活用実績	ゼロエネ住宅に関する補助金の活用実績	優良建築物に関する補助金の活用実績	被災地に該当	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定	
VI.施工	新規追加	VI-55	西武ホーム株式会社	891-0143	鹿児島県	鹿児島市和田3-16-15	0992687255	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0							○
VI.施工	情報の変更	VI-2	株式会社 有園	891-0131	鹿児島県	鹿児島市谷山港1丁目3-36	0992621188	17	19	4	4	0	0	1	1	416	292	○	○			○		